

Evidence Update セミナー

Cancer Precision Medicine

(令和5年度第3回愛媛大学がん学° 07エシヨナル養成イテンジブ° コース講習会)

日時

2023年7月19日(水) 18:10~19:40



会場

愛媛大学 医学部総合教育棟2階 第2ゼミナール室

[参加登録リンク](#)

Session1

18:10~19:00

二次元コードまたは
参加登録リンクより
ご登録をお願い致します

愛媛大学のがん遺伝子パネル検査と がん治療の現状について

解説・発表

薬師神 芳洋 先生

愛媛大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学講座 教授

発表

山本 将一郎 先生

愛媛大学医学部附属病院 腫瘍センター 助教

Session2

19:00~19:40

~ Webinar Live上映 ~

患者さんにもっと治療を届けるため、 ゲノムプロファイリングにできること

標準治療前に遺伝子パネル検査を施行する先進医療B FIRST-Dx試験から見えるもの

司会

石岡 千加史 先生

東北大学大学院医学系研究科 臨床腫瘍学分野 教授

演者

武藤 学 先生

京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 教授

講演内容のポイント

現在の保険適用のタイミング(標準治療終了後/終了見込み)では、がん遺伝子パネル検査(CGP検査)を実施後、実際にエキスパートパネルによる推奨治療を受けた症例は9.4%であることが報告*されております。

一方、先進医療B FIRST-Dx試験において、標準治療開始前にCGP検査を施行したところ、現時点における治療到達割合は19.8%であり、今後その割合は向上することが期待されています。今回のWebinarでは、FIRST-Dx試験の結果から、効果の期待できる薬剤をより多くの患者さんに届けるために、標準治療前にCGPを実施する意義について、がんゲノム医療を実施中、あるいは興味をお持ちの視聴者の先生方と一緒に、考えていきたいと思います。

*令和5年3月15日 第5回がんゲノム医療中核拠点病院等の指定に関する検討会

会場にお弁当をご用意しております

このセミナーは大学院特別講義としても認定されています。
大学院生は事前に学務課より配布されるレポート用紙に概要等を記載し、
8月10日(木)までに学務課大学院チームへ提出してください。最大2点で採点されます。

主催:  CHUGAI 中外製薬

 ロシュグループ

後援: 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム